

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 7月 30日

事業所名 多機能型事業所 ライム

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>				
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			施設は完全バリアフリーにしてあります	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			定期的なミーティングにより、全スタッフで課題を共有するようにしています	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			HPIにて公開しています	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			全員参加の法人ミーティングにおいて、毎月テーマを設定して研修を行っています	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			全スタッフがプログラム案を持ち寄り、プレゼン形式で毎月の立案ミーティングを行っています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			スタッフ各々の個性を生かした療育プログラムを、日替わりで設定して活動しています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			SNSを活用しながら、支援の内容や児童について、前日及び当日に検討・共有しています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	<input type="radio"/>				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			医療的ケアが必要な子どもの受け入れを行っていません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			現在まで移行対象のケースはありません 今後発生した場合は適宜対応していきたいと思います
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		感染症を考慮しつつ、土曜日・祝日には社会体験活動を計画し、事業所外の人と交流する場を設定しています	感染症の状況から、本年度の他施設との交流イベントは見送っています
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○			協議会が支援時間中に開催されているので、本年度は参加できていません
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			日々の療育の写真や動画をSNSで送信しながら、リアルタイムで共有しています	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			感染症の状況から全体での開催は設定できていません ペアレントトレーニング等の家族支援については、その都度、対応をお伝えしながら共有しています
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			SNSを利用し、ご家庭での様子などを定期的に伺うようにしています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			感染症の状況から、本年度の開催は設定できていません
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			日頃から利用者とは良好な関係を築くために、希望や要望などを共有しながら運営しています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			日々の療育の写真や動画をSNSで送信・発信しながら、活動の様子をリアルタイムで共有しています	
	35	個人情報に十分注意している	○			鍵付きキャビネットに保管しています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			感染症の状況から、本年度のイベントは企画を見送っています

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	○			開所半年以内に災害時避難訓練を実 施しています 全利用家庭に訓練実施の様子や避難 場所を通信にて配布周知しています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	○			全体ミーティングにおいて定期的に研 修を開催し、対応を検討・共有してい ます	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる		○		全体ミーティングにおいて検討・対応を 共有しています	計画に記載して達成目標にす るほどの拘束を必要とする児 童がいません
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	○				